

令和4年度第2回結城市都市計画審議会議事録

【開催】

と き 令和5年2月22日（水） 午前10時00分～午前11時00分
と ころ 結城市役所 大会議室

【出席者】

(1) 委員 (出席委員)

松本委員、石嶋委員、笠島委員、吉川委員、早瀬委員
大橋委員、石川委員、滝沢委員、黒川委員、稲葉委員
(欠席委員)

秋元委員、間井田委員、荒川委員、矢川委員
(欠員)

1名

(2) 幹事 瀬戸井都市建設部長

(3) 事務局 佐山次長兼都市計画課長、山田補佐、坂本主任、森田主事

【傍聴人】 1人

【内容】

1. 開会

事務局から開会、審議会の成立の報告があった。

2. 自己紹介

委員及び事務局から自己紹介があった。

3. 会長選出

委員から事務局一任の声があったため、事務局案により選出することになり、石嶋委員が選出された。

4. 議事 【報告事項】 立地適正化計画の策定について

事務局から、「結城市立地適正化計画」の素案についての説明があった。

また、本計画は、令和5年2月末に事前周知を開始して、3月下旬に策定・公表予定である旨の報告があった。

次項に続く

○質疑応答

(委員)

農業については、大規模化が進んでおり、小規模農家が年々減少している。今後とも減少していくものと思われる。このような厳しい状況が予想される中で、本計画に農地の利用等に関する記載がないことについての理由を伺いたい。

(事務局)

農業の厳しい状況は充分理解しておりますが、本計画は医療や商業等の都市機能の誘導に関する計画であり、農地の利活用についての内容ではないため、記載がないところです。

(委員)

公共交通ネットワークに関する方針について、結城駅へのアクセス性の向上等を記載しているが、JR 水戸線の発着は日中では1時間に1本であり利用者が少ない。駅の発着の本数の増加や巡回バスを電車との乗り継ぎに考慮したダイヤにすることによって、病院に行く際等の利便性が高まると思う。

(事務局)

企画政策課が所管する「結城市地域公共交通計画」では、JR 水戸線の利便性向上に向けた要望活動を事業として挙げている。

また、巡回バスは、JR 水戸線との乗り継ぎに考慮したダイヤ改正を実施する方針であり、各種公共交通の連携を図っていくものとしている

(委員)

江川地区に住んでいる独居老人の方の話ですが、巡回バスを利用して病院に行った際に、帰宅するためのバスが丁度良い時間に無いと伺ったことがあり、バスの増便やダイヤの改正等を検討していただきたい。

また、現在実証実験による運行を行っている高齢者タクシーの自己負担等の内容を伺いたい。

(事務局)

高齢者タクシーは65歳以上の方が片道1,000円の自己負担で利用出来るものです。

巡回バス、高齢者タクシー等の公共交通施策については、担当部局と連携して、利便性の向上を図っていきます。

次項に続く

(委員)

市南部に生活サービス圏域（医療・商業・福祉等の施設が集積している区域）が飛び地であるが、どこの地域かを教えていただきたい。

(事務局)

山川地区です。山川保育所やコンビニ等の生活サービス施設が集積している地域を示しています。

(委員)

今後、四川地区は、小学校の統合によって、居住希望者の減少及び空き家の増加が懸念される。

不動産業を営むなかで、核家族化、スーパーへのアクセス等を考慮した市街地や若い世帯の近くへ移住する高齢者等が増えていると感じる。

四川地区の土地は、農地としての活用は見込めるが、住居としての活用は難しくなるのではないか。今後のまちづくりの方針を伺いたい。

(事務局)

市街化区域に都市機能及び居住の誘導を図る計画ではありますが、市街化調整区域での居住を制限するものではなく、今後は令和5年度の空き家バンクの設置等の施策によって、本区域の維持を図りたいと考えています。

3. 閉会

事務局から、今後は「用途地域の一部見直し」・「工業団地の造成に伴う市街化区域への編入」についての審議を依頼する予定である旨の連絡があった。